

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド	追加型投信／海外／株式
	ダイワ・アセアン内 需関連株ファンド・マ ネー・ポートフォリオ	追加型投信／国内／債券
信託期間	10年間（2012年2月17日～2022年2月16日）	
運用方針	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
	ダイワ・アセアン内 需関連株ファンド・マ ネー・ポートフォリオ	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないま す。
主 要 投資対象	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド	イ. アセアン加盟国の金融商品取引所上場株式およ び店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を 含みます。） ロ. アセアン加盟国の企業のD R（預託証券）
	ダイワ・アセアン内 需関連株ファンド・マ ネー・ポートフォリオ	イ. ダイワ・マネーストック・マザーファンド（以下「マ ザーファンド」といいます。）の受益証券 ロ. 円建ての債券
運用方法	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド	①主として、アセアン加盟国の株式（D R（預託証券） を含みます。以下同じ。）の中から、アセアン経済圏 の内需拡大の恩恵を受けると考えられる企業の株式 に投資することにより、信託財産の成長をめざしま す。 ②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で 行なうことを基本とします。 イ. 時価総額や流動性およびアセアン経済圏の内 需との関連性等を勘案して投資対象銘柄を選定 します。 ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプロ ーチに基づいて個別企業の分析を行ない、次の銘 柄を組入候補銘柄として選定します。 i. 高い利益成長が期待できる銘柄 ii. 収益力等に対して株価が割安と判断される 銘柄 ハ. 株価バリュエーション、銘柄分散等を勘案し、 ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・ マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の 指図にかかる権限の一部を委託します。 ④株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持す ることを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原 則として行ないません。
	ダイワ・アセアン内 需関連株ファンド・マ ネー・ポートフォリオ	①マザーファンドの受益証券および円建ての債券を 中心に投資することにより、安定した収益の確保を めざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年 未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およ びコモディティ・ペーパーに投資することを基本とし ます。
組入制限	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド	・株式組入上限比率は無制限
	ダイワ・アセアン内 需関連株ファンド・マ ネー・ポートフォリオ	・マザーファンド組入上限比率は無制限 ・株式組入上限比率は純資産総額の10%以下
分配方針		分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。） 等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定し ます。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないこと があります。

※ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオは、ファミリー
ファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資
金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファ
ンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド
ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・
マネー・ポートフォリオ

運用報告書（全体版）
第13期

（決算日 2018年8月16日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
し上げます。

さて、「ダイワ・アセアン内需関連株ファ
ンド」および「ダイワ・アセアン内需関連株
ファンド・マネー・ポートフォリオ」は、こ
のたび、第13期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げ
ます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/> <4819>

<4820>

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC 東南アジア指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
9期末(2016年8月16日)	8,665	0	4.6	13,660	2.9	95.2	—	1.6	4,675
10期末(2017年2月16日)	9,482	0	9.4	14,835	8.6	96.8	—	—	4,462
11期末(2017年8月16日)	9,876	0	4.2	16,056	8.2	93.4	—	2.6	4,327
12期末(2018年2月16日)	10,772	250	11.6	17,671	10.1	94.7	—	—	3,796
13期末(2018年8月16日)	9,708	0	△ 9.9	16,377	△ 7.3	91.8	—	—	3,055

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC 東南アジア指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC 東南アジア指数(配当込み、米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCI AC 東南アジア指数(配当込み、米ドルベース)は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

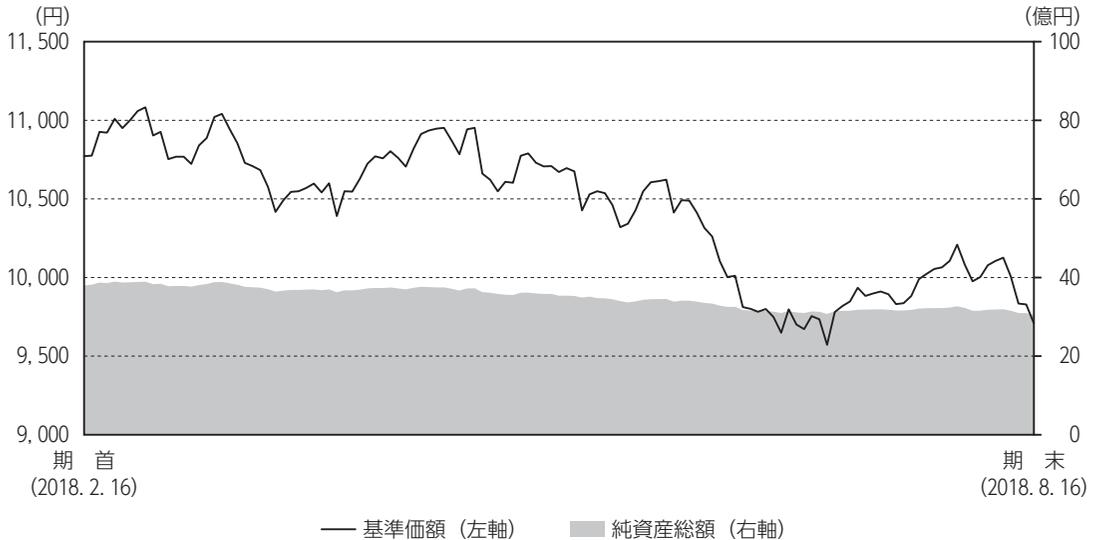
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：10,772円

期末：9,708円

騰落率：△9.9%

■ 基準価額の変動要因

アセアンの内需関連企業の株式に投資した結果、基準価額は下落しました。米中貿易摩擦への懸念などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、米国長期金利の上昇に伴う資金流出懸念などを受けて、アセアン株式市況が下落したことがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC 東南アジア指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %			
(期首)2018年2月16日	10,772	—	17,671	—	94.7	—	—
2月末	11,083	2.9	18,089	2.4	94.1	—	—
3月末	10,569	△ 1.9	17,301	△ 2.1	91.7	—	—
4月末	10,784	0.1	17,719	0.3	94.8	—	—
5月末	10,320	△ 4.2	16,879	△ 4.5	94.4	—	—
6月末	9,649	△ 10.4	15,805	△ 10.6	94.1	—	—
7月末	10,065	△ 6.6	16,837	△ 4.7	95.6	—	—
(期末)2018年8月16日	9,708	△ 9.9	16,377	△ 7.3	91.8	—	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 2. 17 ~ 2018. 8. 16)

■アセアン株式市況

アセアン株式市況は下落しました。

アセアン株式市況は、期首より、堅調な企業業績への期待などを背景に上昇して始まりました。しかしその後は、米中間の貿易摩擦懸念などを受けた投資家心理の悪化を背景に下落しました。2018年4月に入ると、投資家心理が改善する中で反発する場面もありましたが、米国長期金利の上昇を受けた新興国からの資金流出懸念のほか、世界的な貿易摩擦への警戒感を背景に、再び軟調な展開となりました。7月には、新政権の改革への期待や国内経済の回復期待を背景に上昇したマレーシア主導で堅調に推移しました。7月末にかけても、インフレ率上昇に対するタカ派的な中央銀行総裁の発言などが好感されたフィリピンを中心に続伸しました。しかし期末にかけては、米中貿易摩擦激化への警戒感や米国とトルコ間の政治的緊張の高まりを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。

■為替相場

アセアン通貨は円に対してまちまちの動きとなりました。

アセアン通貨の対円為替相場は、米中貿易摩擦への懸念などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、米国長期金利の上昇に伴う資金流出懸念などを主因に、インドネシア・ルピアやタイ・バーツなどが対円で下落しました。一方でフィリピン・ペソは、フィリピン経済の堅調な推移やインフレ抑制に積極的な中央銀行の姿勢などが支援材料となり、対円で上昇しました。

前期における「今後の運用方針」

アセアン加盟国の株式の中から、アセアン経済圏の内需拡大の恩恵を受けると考えられる企業で、財務内容や株価水準などを勘案し、着実な利益成長が期待できる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、アセアン地域の広範な景気回復の恩恵が期待できる銀行を中心とした金融セクターのほか、個人消費の回復などを受けた企業業績の拡大が期待される銘柄を中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。

ポートフォリオについて

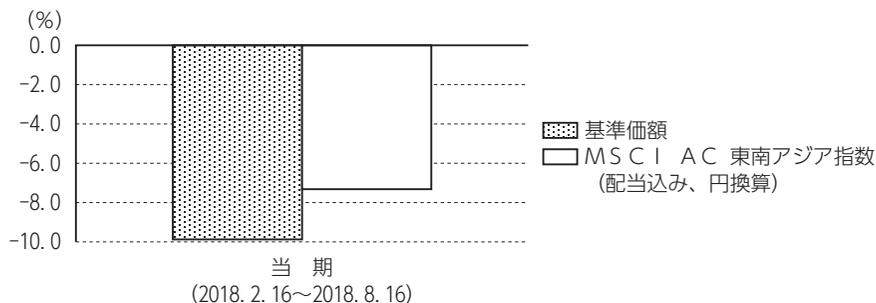
(2018. 2. 17 ~ 2018. 8. 16)

アセアンの内需関連企業の中から、財務内容や株価水準などを勘案し、中長期的に高い利益成長が期待された銘柄に分散投資を行ないました。業種では、アセアン地域の広範な景気回復の恩恵が期待された銀行を中心に金融セクター、個人消費の回復などを受けて企業業績の拡大が期待された一般消費財・サービスセクターなどを組入上位としました。個別銘柄では、資産内容の改善やローン残高拡大などを受けて業績拡大が期待されたシンガポールの DBS GROUP HOLDINGS LTD (金融)、自動車の販売シェア拡大が見込まれたインドネシアの ASTRA INTERNATIONAL TBK PT (一般消費財・サービス) などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はアセアン市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年 2月17日 ～2018年 8月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	728

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
 (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
 (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

アセアン加盟国の株式の中から、アセアン経済圏の内需拡大の恩恵を受けると考えられる企業で、財務内容や株価水準などを勘案し、着実な利益成長が期待できる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、アセアン地域の広範な景気回復の恩恵が期待できる銀行を中心とした金融セクターのほか、株価バリュエーションに割安感がみられる銘柄を中心に資本財・サービスセクターに注目しています。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 2. 17~2018. 8. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	92円	0.884%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,425円です。
(投 信 会 社)	(45)	(0.428)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(45)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	50	0.483	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(50)	(0.483)	
有 価 証 券 取 引 税	15	0.142	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(15)	(0.142)	
そ の 他 費 用	11	0.102	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(10)	(0.092)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.007)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	168	1.611	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
株 式

(2018年2月17日から2018年8月16日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	シンガポール	百株 26,029 (270)	千シンガポール・ドル 5,933 (—)	百株 28,014.57	千シンガポール・ドル 10,051
	フィリピン	百株 39,821.3 (4,045.03)	千フィリピン・ペソ 133,232 (2,640)	百株 61,237.48	千フィリピン・ペソ 185,780
	インドネシア	百株 212,219 (48,222)	千インドネシア・ルピア 77,364,868 (—)	百株 304,398	千インドネシア・ルピア 81,264,079
	マレーシア	百株 30,638 (354.3)	千マレーシア・リンギット 16,589 (—)	百株 14,683.3	千マレーシア・リンギット 5,261
国	タイ	百株 194,925 (8,100)	千タイ・バーツ 191,542 (—)	百株 157,000	千タイ・バーツ 220,144
	ベトナム	百株 716.7 (—)	千ベトナム・ドン 7,279,119 (—)	百株 2,446	千ベトナム・ドン 37,345,679

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年2月17日から2018年8月16日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	5,385,487千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,288,453千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.63

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
株 式

(2018年2月17日から2018年8月16日まで)

買 付	当			期			
	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
PUBLIC BANK BERHAD (マレーシア)	220	146,830	667	OVERSEA-CHINESE BANKING CORP (シンガポール)	248,549	244,403	983
COMFORTDELGRO CORP LTD (シンガポール)	700	123,014	175	PTT PCL/FOREIGN (タイ)	630	164,740	261
ADVANCED INFO SERVICE-FOR RG (タイ)	150	106,881	712	CP ALL PCL-FOREIGN (タイ)	480	129,593	269
ASTRA INTERNATIONAL TBK PT (インドネシア)	1,700	104,123	61	CITY DEVELOPMENTS LTD (シンガポール)	135	123,381	913
GENTING MALAYSIA BHD (マレーシア)	600	84,942	141	DBS GROUP HOLDINGS LTD (シンガポール)	53	120,012	2,264
BANK MANDIRI PERSERO TBK PT (インドネシア)	1,300	71,441	54	BANK MANDIRI PERSERO TBK PT (インドネシア)	2,000	118,846	59
CITY DEVELOPMENTS LTD (シンガポール)	80	71,321	891	KEPPEL CORP LTD (シンガポール)	180	97,772	543
AYALA LAND INC (フィリピン)	800	69,742	87	MALAYAN BANKING BHD (マレーシア)	351.8	94,440	268
BANK RAKYAT INDONESIA PERSER (インドネシア)	2,750	67,525	24	MOBILE WORLD INVESTMENT CORP (ベトナム)	155	92,125	594
SM PRIME HOLDINGS INC (フィリピン)	850	66,144	77	VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC (ベトナム)	89.6	83,399	930

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期中における利害関係人との取引はありません。

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド

■組入資産明細表
外国株式

銘柄	株数	当 株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(シンガポール)	百株	百株	千シンガポール・ドル	千円		
UNITED OVERSEAS BANK LTD	900	980	2,651	212,627	金融	
DBS GROUP HOLDINGS LTD	1,558.34	1,258.34	3,174	254,554	金融	
KEPPEL CORP LTD	2,100	1,200	806	64,657	資本財・サービス	
UOL GROUP LTD	852.08	—	—	—	不動産	
CITY DEVELOPMENTS LTD	950	400	382	30,628	不動産	
OVERSEA-CHINESE BANKING CORP	2,485.49	—	—	—	金融	
JUMBO GROUP LTD	7,500	—	—	—	一般消費財・サービス	
HRNETGROUP LTD	—	4,249	365	29,298	資本財・サービス	
APAC REALTY LTD	—	1,853	111	8,914	不動産	
GENTING SINGAPORE LTD	7,300	2,500	267	21,448	一般消費財・サービス	
M1 LTD	—	2,500	397	31,871	電気通信サービス	
COMFORTDELGRO CORP LTD	—	3,950	936	75,060	資本財・サービス	
SINGAPORE POST LTD	—	2,500	287	23,051	資本財・サービス	
BREADTALK GROUP LTD	—	540	54	4,373	一般消費財・サービス	
シンガポール・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	23,645.91 8銘柄	21,930.34 11銘柄	9,434 <24.8%>	756,486	
(フィリピン)	百株	百株	千フィリピン・ペソ	千円		
AYALA LAND INC	4,500	8,000	32,880	68,061	不動産	
SM PRIME HOLDINGS INC	7,500	8,500	30,345	62,814	不動産	
BANK OF THE PHILIPPINE ISLAN	2,082.8	—	—	—	金融	
JOLLIBEE FOODS CORP	—	98.3	2,693	5,575	一般消費財・サービス	
SM INVESTMENTS CORP	—	300	27,840	57,628	資本財・サービス	
BDO UNIBANK INC	3,000	—	—	—	金融	
ROBINSONS LAND CO	—	7,923	16,083	33,293	不動産	
GT CAPITAL HOLDINGS INC	132.65	—	—	—	金融	
EAST WEST BANKING CORP	7,500	—	—	—	金融	
D&L INDUSTRIES INC	13,000	13,000	13,338	27,609	素材	
BLOOMBERRY RESORTS CORP	15,987	10,000	9,700	20,079	一般消費財・サービス	
WILCON DEPOT INC	23,500	18,000	21,276	44,041	一般消費財・サービス	
SHAKEY'S PIZZA ASIA VENTURES	5,990	—	—	—	一般消費財・サービス	
フィリピン・ペソ通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	83,192.45 10銘柄	65,821.3 8銘柄	154,156 <10.4%>	319,103	
(インドネシア)	百株	百株	千インドネシア・ルピア	千円		
INDOCEMENT TUNGGAL PRAKARSA	3,428	—	—	—	素材	
UNITED TRACTORS TBK PT	3,650	2,450	8,330,000	63,308	エネルギー	
ASTRA INTERNATIONAL TBK PT	—	17,000	11,857,500	90,117	一般消費財・サービス	
GUDANG GARAM TBK PT	—	1,000	7,180,000	54,568	生活必需品	
SEMEN INDONESIA PERSERO TBK	12,000	—	—	—	素材	
CIPUTRA DEVELOPMENT TBK PT	75,000	49,922	4,318,253	32,818	不動産	
TELEKOMUNIKASI INDONESIA PER	12,500	12,000	4,116,000	31,281	電気通信サービス	
ACE HARDWARE INDONESIA	—	31,177	3,975,067	30,210	一般消費財・サービス	
RAMAYANA LESTARI SENTOSA PT	32,795	20,000	2,430,000	18,468	一般消費財・サービス	
BANK CENTRAL ASIA TBK PT	5,600	6,000	14,070,000	106,932	金融	
BANK MANDIRI PERSERO TBK PT	20,000	13,000	8,840,000	67,184	金融	
BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	—	27,500	8,827,500	67,089	金融	
MITRA ADIPERKASA TBK PT	10,000	—	—	—	一般消費財・サービス	

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
SURYA CITRA MEDIA PT TBK	18,000	33,967	千インドネシア・ルピア	千円	一般消費財・サービス	
ERAJAYA SWASEMBADA TBK PT	65,000	—	6,470,713	49,177	情報技術	
インドネシア・ルピア通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	257,973 11銘柄	214,016 11銘柄	80,415,034	611,154 <20.0%>	
(マレーシア)	百株	百株	千マレーシア・リンギット	千円		
MALAYAN BANKING BHD	3,518	—	—	—	金融	
PUBLIC BANK BERHAD	—	2,200	5,385	145,141	金融	
GENTING MALAYSIA BHD	—	6,000	3,060	82,467	一般消費財・サービス	
CARLSBERG BREWERY MALAYSIA B	—	570	1,086	29,279	生活必需品	
HSS ENGINEERS BHD	3,543	—	—	—	資本財・サービス	
BURSA MALAYSIA BHD	—	2,000	1,538	41,449	金融	
BRITISH AMERICAN TOBACCO BHD	—	600	2,160	58,212	生活必需品	
MAH SING GROUP BHD	—	10,000	1,220	32,879	不動産	
MUHIKBAH ENGINEERING (M) BHD	4,000	6,000	1,860	50,127	資本財・サービス	
マレーシア・リンギット通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	11,061 3銘柄	27,370 7銘柄	16,310	439,555 <14.4%>	
(タイ)	百株	百株	千タイ・パーツ	千円		
BANGKOK BANK PCL-FOREIGN REG	350	350	7,280	24,169	金融	
KASIKORN BANK PCL-NVDR	750	500	10,650	35,358	金融	
CENTRAL PLAZA HOTEL PCL-FRGN	—	925	3,908	12,974	一般消費財・サービス	
SIAM COMMERCIAL BANK-FOREIGN	—	900	13,005	43,176	金融	
COM7 PCL-F	5,000	—	—	—	一般消費財・サービス	
ADVANCED INFO SERVICE-FOR RG	—	1,000	19,350	64,242	電気通信サービス	
ROBINSON PCL-FOREIGN	—	1,200	7,440	24,700	一般消費財・サービス	
SINO-THAI ENGR & CONST-FOR	—	5,000	10,550	35,026	資本財・サービス	
BANGKOK DUSIT MED SERVICE-F	—	5,500	14,025	46,563	ヘルスケア	
QUALITY HOUSE PCL-FOREIGN	—	40,000	13,680	45,417	不動産	
PTT PCL/FOREIGN	1,200	3,000	15,300	50,796	エネルギー	
CP ALL PCL-FOREIGN	5,500	2,200	15,235	50,580	生活必需品	
AIRPORTS OF THAILAND PCL-FOR	2,750	—	—	—	資本財・サービス	
CENTRAL PATTANA PCL-NVDR	2,816	816	6,385	21,198	不動産	
BANGKOK BANK PUBLIC CO-NVDR	1,250	1,250	25,125	83,415	金融	
LAND & HOUSES PUB - NVDR	12,000	12,000	14,160	47,011	不動産	
SOMBOON ADV TECH - FOREIGN	—	4,000	9,360	31,075	一般消費財・サービス	
WORKPOINT ENTERTAINMENT-FOR	1,000	—	—	—	一般消費財・サービス	
タイ・パーツ通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	32,616 10銘柄	78,641 15銘柄	185,453	615,705 <20.2%>	
(ベトナム)	百株	百株	千ベトナム・ドン	千円		
TASECO AIR SERVICES JSC	—	283.9	1,799,926	8,459	一般消費財・サービス	
VINHOMES JSC	—	432.8	4,665,584	21,928	不動産	
VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	1,344.3	448.3	7,105,555	33,396	生活必需品	
MOBILE WORLD INVESTMENT CORP	1,550	—	—	—	一般消費財・サービス	
ベトナム・ドン通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	2,894.3 2銘柄	1,165 3銘柄	13,571,065	63,784 <2.1%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	411,382.66 44銘柄	408,943.64 55銘柄	—	2,805,788 <91.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド

■投資信託財産の構成

2018年8月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	2,805,788	87.4
コール・ローン等、その他	404,075	12.6
投資信託財産総額	3,209,863	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.61円、1シンガポール・ドル=80.18円、1フィリピン・ペソ=2.07円、100インドネシア・ルピア=0.76円、1マレーシア・リンギット=26.95円、1タイ・バーツ=3.32円、100ベトナム・ドン=0.47円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,024,056千円)の投資信託財産総額(3,209,863千円)に対する比率は、94.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年8月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,371,766,034円
コール・ローン等	208,087,407
株式(評価額)	2,805,788,230
未収入金	344,813,341
未収配当金	13,077,056
(B) 負債	316,393,004
未払金	280,574,589
未払解約金	4,748,911
未払信託報酬	30,975,238
その他未払費用	94,266
(C) 純資産総額(A-B)	3,055,373,030
元本	3,147,128,121
次期繰越損益金	△ 91,755,091
(D) 受益権総口数	3,147,128,121口
1万口当り基準価額(C/D)	9,708円

*期首における元本額は3,524,600,613円、当期中における追加設定元本額は122,626,013円、同解約元本額は500,098,505円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,708円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は91,755,091円です。

■損益の状況

当期 自 2018年2月17日 至 2018年8月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	74,244,424円
受取配当金	73,689,194
受取利息	563,750
支払利息	△ 8,520
(B) 有価証券売買損益	△ 370,551,359
売買益	121,267,727
売買損	△ 491,819,086
(C) 信託報酬等	△ 34,554,015
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 330,860,950
(E) 前期繰越損益金	88,087,675
(F) 追加信託差損益金	151,018,184
(配当等相当額)	(101,431,351)
(売買損益相当額)	(49,586,833)
(G) 合計(D+E+F)	△ 91,755,091
次期繰越損益金(G)	△ 91,755,091
追加信託差損益金	151,018,184
(配当等相当額)	(101,431,351)
(売買損益相当額)	(49,586,833)
分配準備積立金	127,778,084
繰越損益金	△ 370,551,359

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:8,333,769円(未監査)

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	39,690,409円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	101,431,351
(d) 分配準備積立金	88,087,675
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	229,209,435
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	229,209,435
(h) 受益権総口数	3,147,128,121口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		期中騰落率	公社債組入比率	純資産総額
	円	円			
9期末(2016年8月16日)	10,006	0	△ 0.0	19.7	148
10期末(2017年2月16日)	10,003	0	△ 0.0	38.5	129
11期末(2017年8月16日)	9,999	0	△ 0.0	—	124
12期末(2018年2月16日)	9,996	0	△ 0.0	—	166
13期末(2018年8月16日)	9,992	0	△ 0.0	—	183

(注1) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

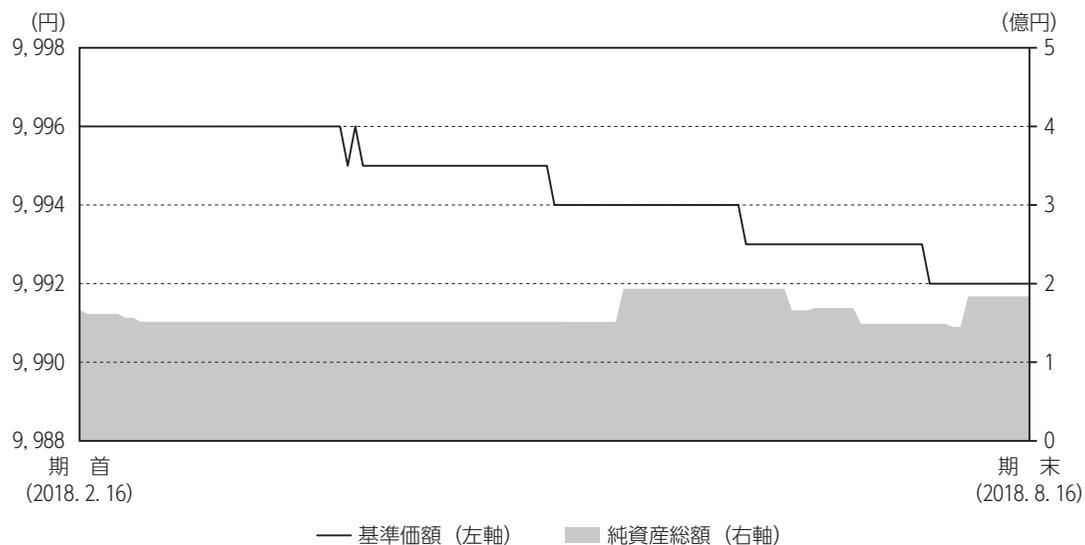
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ダイワ・アセアン内需関連株ファンドの資金をスイッチングにより一時滞留させる受け皿としての役割をもったファンドであり、円建ての債券を中心に、安定運用を行ないます。そのため、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：9,996円

期末：9,992円

騰落率：△0.0%

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の受益証券を通じて投資した短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

年 月 日	基 準	価 額		公社債組入比率
		騰 落 率		
		円	%	%
(期首)2018年2月16日	9,996	—	—	—
2月末	9,996	0.0	0.3	0.3
3月末	9,996	0.0	—	—
4月末	9,995	△ 0.0	—	—
5月末	9,994	△ 0.0	—	—
6月末	9,993	△ 0.0	—	—
7月末	9,992	△ 0.0	—	—
(期末)2018年8月16日	9,992	△ 0.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 2. 17 ~ 2018. 8. 16)

国内短期金融市況

期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

前期における「今後の運用方針」

当ファンド

「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。そのため、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資する場合があります。

ポートフォリオについて

(2018. 2. 17 ~ 2018. 8. 16)

当ファンド

「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		当 期	
		2018年 2月17日 ～2018年 8月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—	
対基準価額比率	(%)	—	
当期の収益	(円)	—	
当期の収益以外	(円)	—	
翌期繰越分配対象額	(円)	6	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 2. 17~2018. 8. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	—円	—%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,994円です。
(投 信 会 社)	(—)	(—)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(—)	(—)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(—)	(—)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.030	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0.030)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	3	0.030	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年2月17日から2018年8月16日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー ストック・ マザーファンド	128,402	128,735	62,115	62,279

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	116,181	182,467	182,923

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年8月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	182,923	99.6
コール・ローン等、その他	819	0.4
投資信託財産総額	183,743	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年8月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	183,743,054円
コール・ローン等	819,313
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド(評価額)	182,923,741
(B) 負債	383
その他未払費用	383
(C) 純資産総額(A-B)	183,742,671
元本	183,892,288
次期繰越損益金	△ 149,617
(D) 受益権総口数	183,892,288口
1万口当り基準価額(C/D)	9,992円

* 期首における元本額は166,526,704円、当期中における追加設定元本額は83,856,958円、同解約元本額は66,491,374円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,992円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は149,617円です。

■損益の状況

当期自2018年2月17日至2018年8月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 5,104円
受取利息	1,866
支払利息	△ 6,970
(B) 有価証券売買損益	△ 38,248
売買益	8,721
売買損	△ 46,969
(C) 信託報酬等	△ 9,299
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 52,651
(E) 前期繰越損益金	△ 34,319
(F) 追加信託差損益金	△ 62,647
(配当等相当額)	(118,764)
(売買損益相当額)	(△ 181,411)
(G) 合計(D+E+F)	△ 149,617
次期繰越損益金(G)	△ 149,617
追加信託差損益金	△ 62,647
(配当等相当額)	(118,764)
(売買損益相当額)	(△ 181,411)
分配準備積立金	1,417
繰越損益金	△ 88,387

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は19ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	118,764
(d) 分配準備積立金	1,417
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	120,181
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	120,181
(h) 受益権総口数	183,892,288口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年8月16日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を20ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年2月17日から2018年8月16日まで)

買 付			売 付		
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
723	国庫短期証券 2018/3/5	220,001			
757	国庫短期証券 2018/8/13	200,001			
731	国庫短期証券 2018/7/10	150,000			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年8月16日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第8期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第8期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

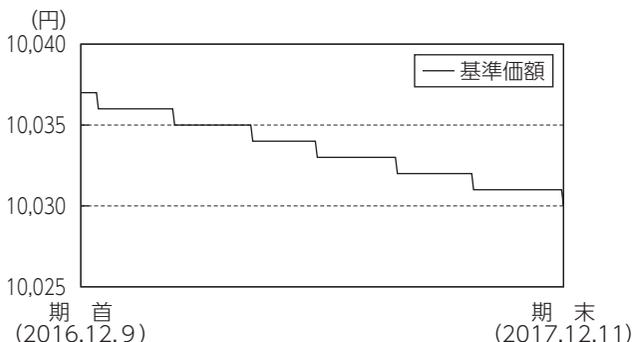
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率	
	円	騰 落 率	組 入 比 率	%
(期首)2016年12月9日	10,037	-	-	29.1
12月末	10,036	△0.0	-	-
2017年1月末	10,036	△0.0	31.1	-
2月末	10,035	△0.0	25.2	-
3月末	10,035	△0.0	-	-
4月末	10,034	△0.0	35.6	-
5月末	10,034	△0.0	6.4	-
6月末	10,033	△0.0	0.6	-
7月末	10,033	△0.0	0.1	-
8月末	10,032	△0.0	-	-
9月末	10,032	△0.0	-	-
10月末	10,031	△0.1	-	-
11月末	10,031	△0.1	-	-
(期末)2017年12月11日	10,030	△0.1	-	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,037円 期末：10,030円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	国債証券	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		116,573,085	(128,940,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当			期		
買	付		売	付	
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
645	国庫短期証券 2017/2/20	17,010,400			
657	国庫短期証券 2017/4/17	10,150,199			
652	国庫短期証券 2017/3/27	9,790,078			
642	国庫短期証券 2017/2/6	9,700,144			
659	国庫短期証券 2017/4/24	9,120,282			
651	国庫短期証券 2017/3/21	7,630,194			
669	国庫短期証券 2017/6/12	6,970,248			
644	国庫短期証券 2017/5/12	6,690,300			
638	国庫短期証券 2017/1/16	5,120,041			
660	国庫短期証券 2017/5/1	4,590,081			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	30,906,278	100.0
投資信託財産総額	30,906,278	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	30,906,278,899円
コール・ローン等	30,906,278,899
(B) 負債	799,000,000
未払解約金	799,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	30,107,278,899
元本	30,015,878,475
次期繰越損益金	91,400,424
(D) 受益権総口数	30,015,878,475口
1万口当り基準価額(C/D)	10,030円

* 期首における元本額は42,294,564,193円、当期中における追加設定元本額は17,178,092,718円、同解約元本額は29,456,778,436円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付債権ファンド(為替ヘッジあり)3,021,993円、ダイワ米国担保付債権ファンド(為替ヘッジなし)1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレアセット・インド株式ファンド-インドの匠-29,910,270円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型)999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド(毎月決算型)999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型)999円、U.S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型)102,434円、U.S短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)1,994円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック(為替ヘッジあり)39,849円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド(年1回決算型)-ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり)3,985円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,969,366,810円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス5,902,244,309円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ(2倍)指数1,105,650,011円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインパース(-2倍)指数821,890,786円、ダイワ上場投信-TOP I Xインパース(-1倍)指数5,071,127,230円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス383,378,807円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス5,200,107,448円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス205,174,656円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり)2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり)2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり)2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり)2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり)2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり)2016-10 997円、ダイワ・ブルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ28,215,782円、ダイワ・ブルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ104,220,911円、ダイワ・ブルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ49,706,154円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネー

ポートフォリオ - S Lトレード-641,089,307円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の礎音(つちおと)-5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ206,680,116円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ126,940,913円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 豪ドル・コース(毎月分配型)4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 通貨セレクト・コース(毎月分配型)4,981,569円、ダイワU.S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり)997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし)997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし)997円、ダイワ/ミレアセット垂細垂株式ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)ブラジル・リアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド(年1回決算型)-ロボテック(年1回)-100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型)399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型)99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型)399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型)99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり)2,088,438円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし)1,012,911円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)-ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型)398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)-ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型)99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)-ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型)398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)-ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース(毎月分配型)1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,030円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,002,641円
受取利息	△ 3,317,956
支払利息	△ 17,684,685
(B) 有価証券売買損益	△ 4,086
売買損	△ 4,086
(C) その他費用	△ 329,559
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 21,336,286
(E) 前期繰越損益金	155,223,882
(F) 解約差損益金	△ 99,854,368
(G) 追加信託差損益金	57,367,196
(H) 合計(D + E + F + G)	91,400,424
次期繰越損益金(H)	91,400,424

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。